

■ ステンシル (stencil) とは

型紙模様の絵の切り抜いた部分に、染料や絵具を塗り込む版画の技法のこと。

■ 「○△□で何ができるかな？ステンシルアート」

対象：幼児以上

【用意するもの】

1. 画用紙（本紙用）
2. 画用紙または方眼紙、牛乳パックなど（型紙用）



3. 絵具・クレヨンなど色が塗れるもの



4. スタンプ (※)、筆

※ 家庭用スポンジを切る、布やティッシュを丸めたものでも代用できます。今回の試作では、メイク用スポンジを使用しました。



5. 絵具用パレット (紙皿等で代用可能です)



6. ハサミまたはカッター



7. マスキングテープ



【制作】

0. 下準備

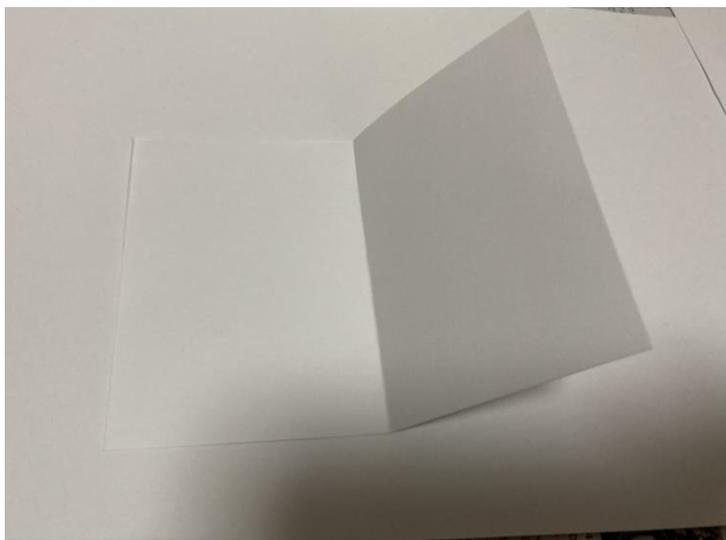
作業場が汚れないように、新聞等を敷いておきましょう。

1. 型紙をつくろう！

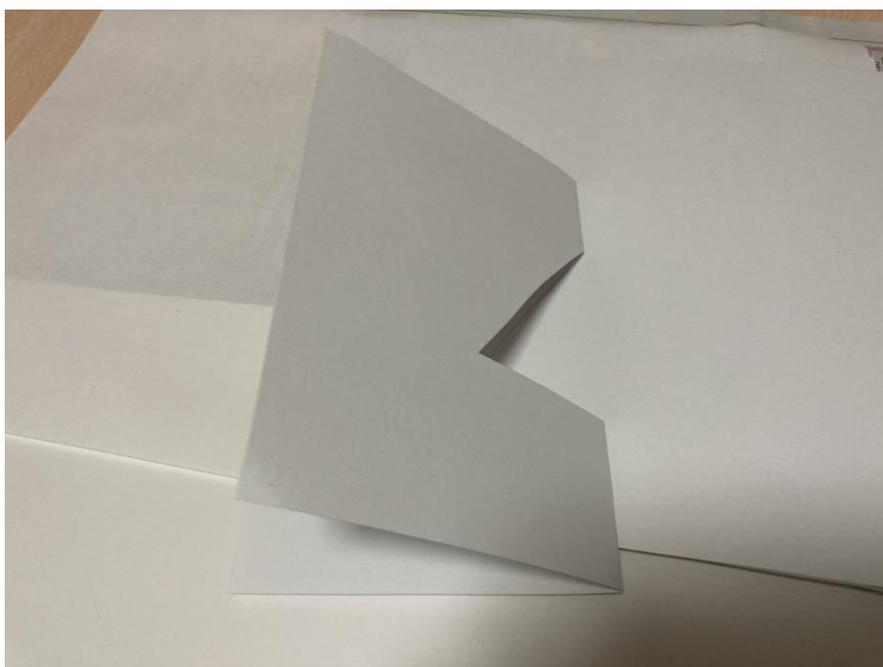
型紙用の紙を丸○や三角△、四角□に切り抜きます。大きさは自由です。ハサミやカッターを使うので、けがに気を付けましょう。

ヒント★ハサミの場合、紙を半分に折って切り抜くと切りやすいです。

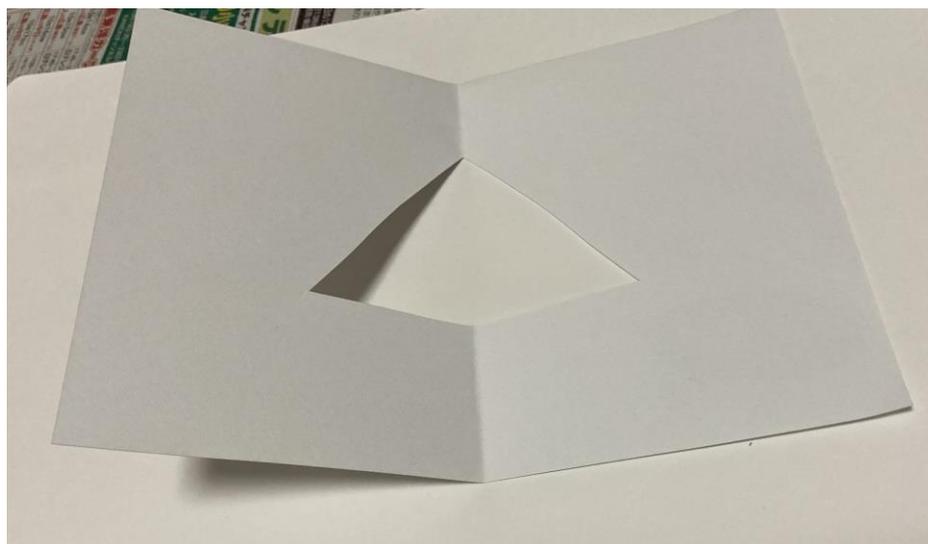
二つに折って、



切れ目を入れます



パカッと開くと三角のできあがり！



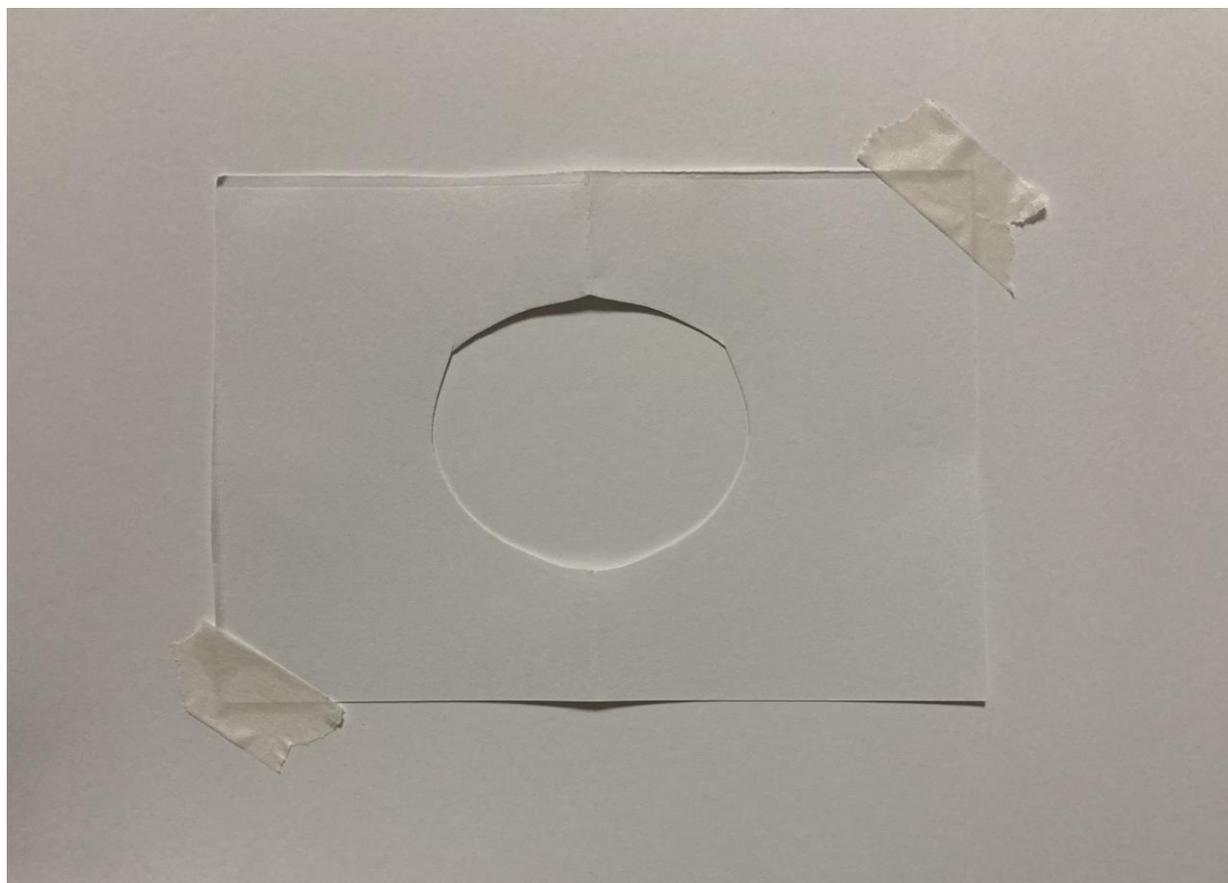
2. ステンシルにチャレンジ！

画用紙の上に「1.型紙をつくろう！」で制作した型紙をのせて、用意した色を刷り込みます。

○△□で何ができるかな？

(1) 型紙を本紙に置きます。

ヒント★型紙をマスキングテープで固定するとずれにくいです。本紙が傷つかないように注意。



(2) スポンジに絵の具をつけます。



(3) ポンポンっと刷り込みます。

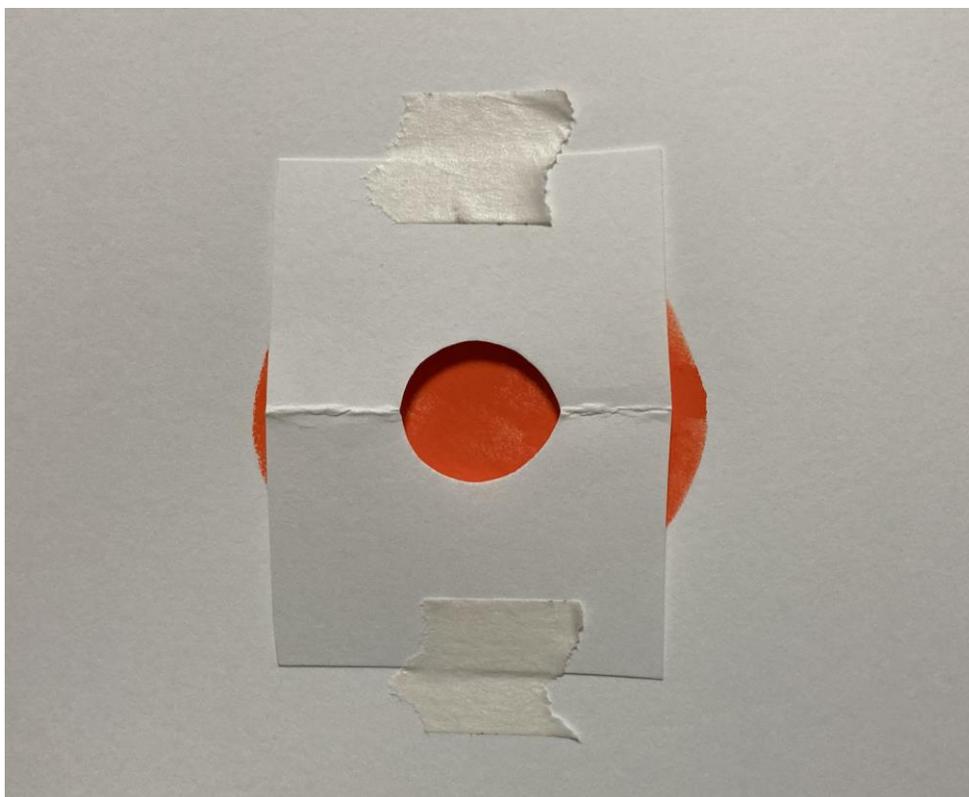


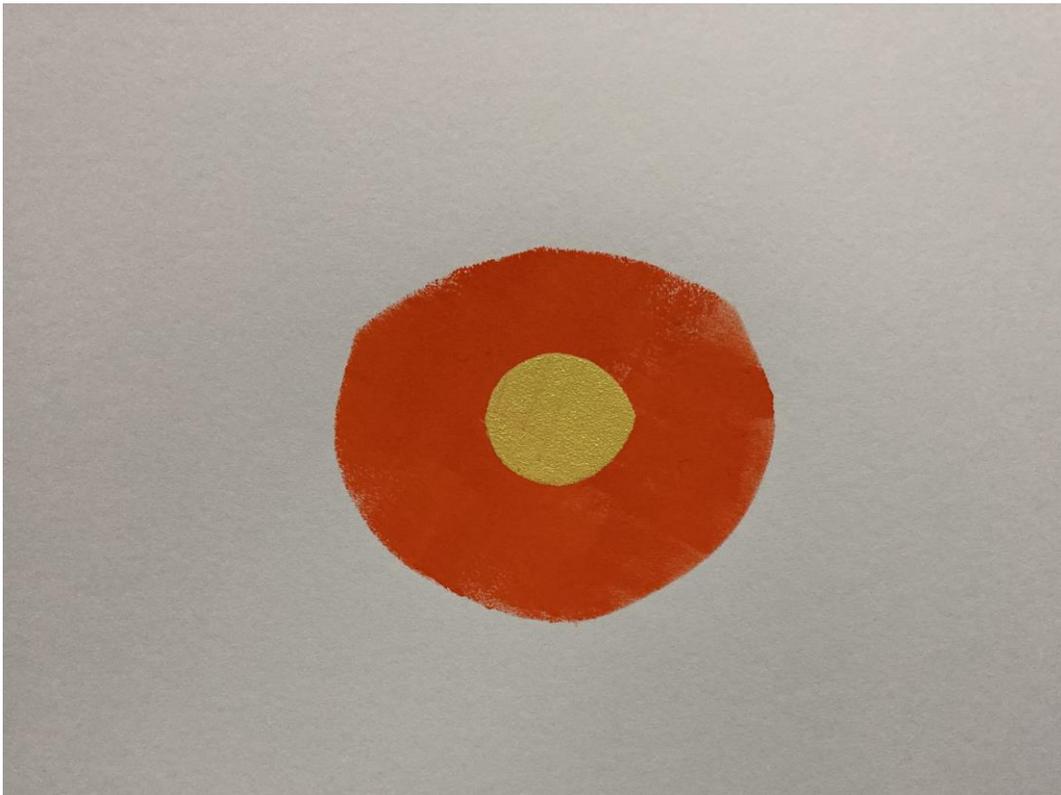
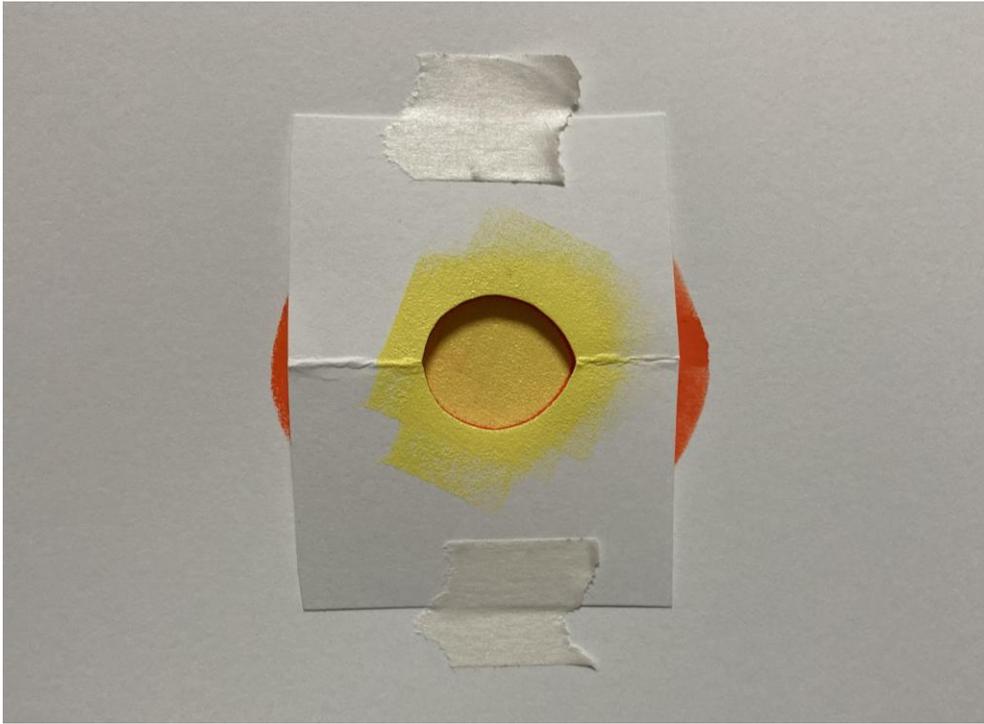
(4) 型紙を取ると、かたちが表れます。

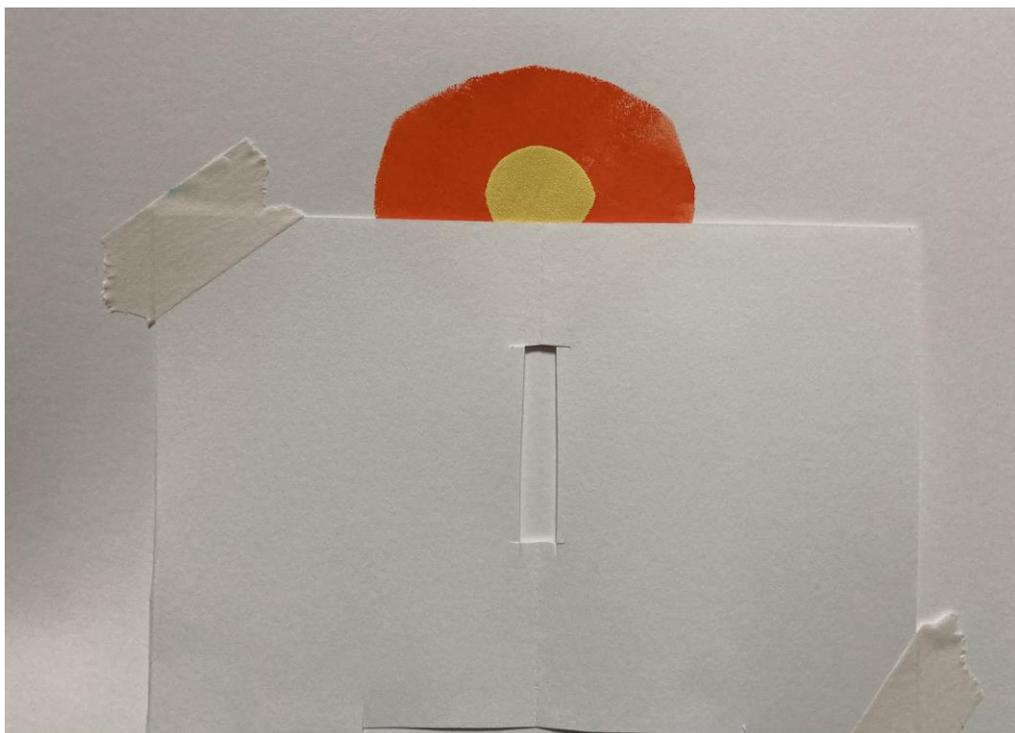


(4) 重ねてみる

※ 色を重ねるときは、下の絵の具が乾いているか確認してくださいね。



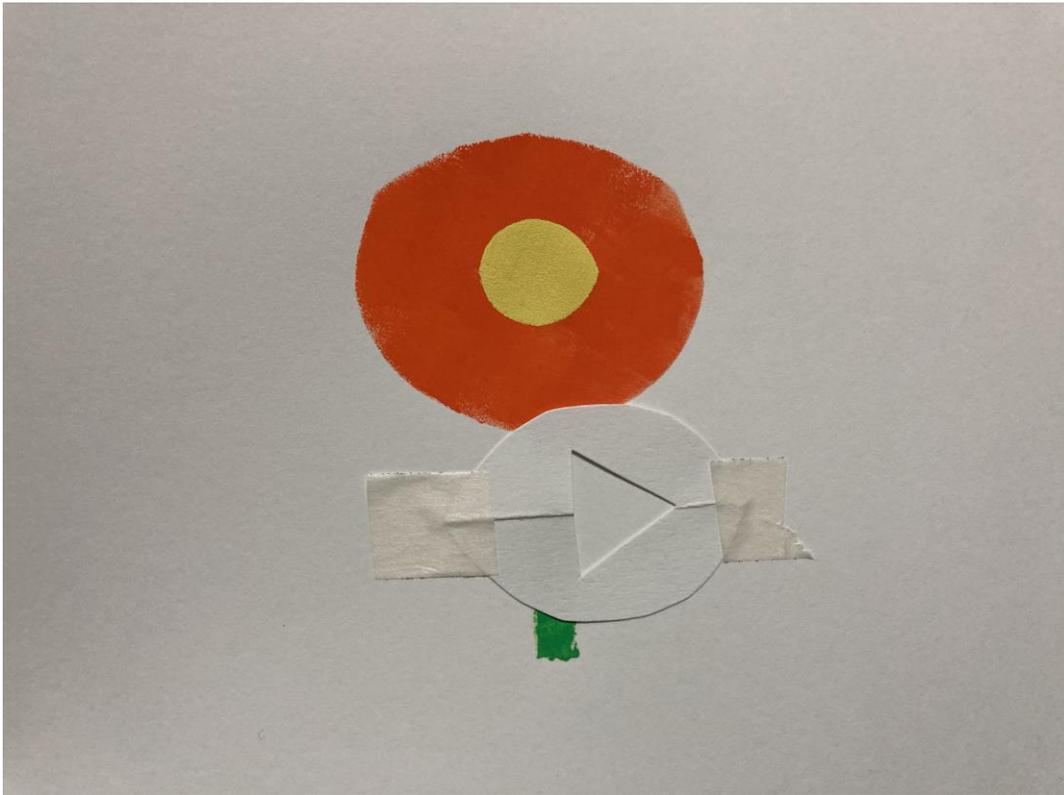




筆で塗ってみました。







クレヨンで塗り込んでみます





次は色鉛筆でやってみます。画材の表現の違いも面白いかもしれません。

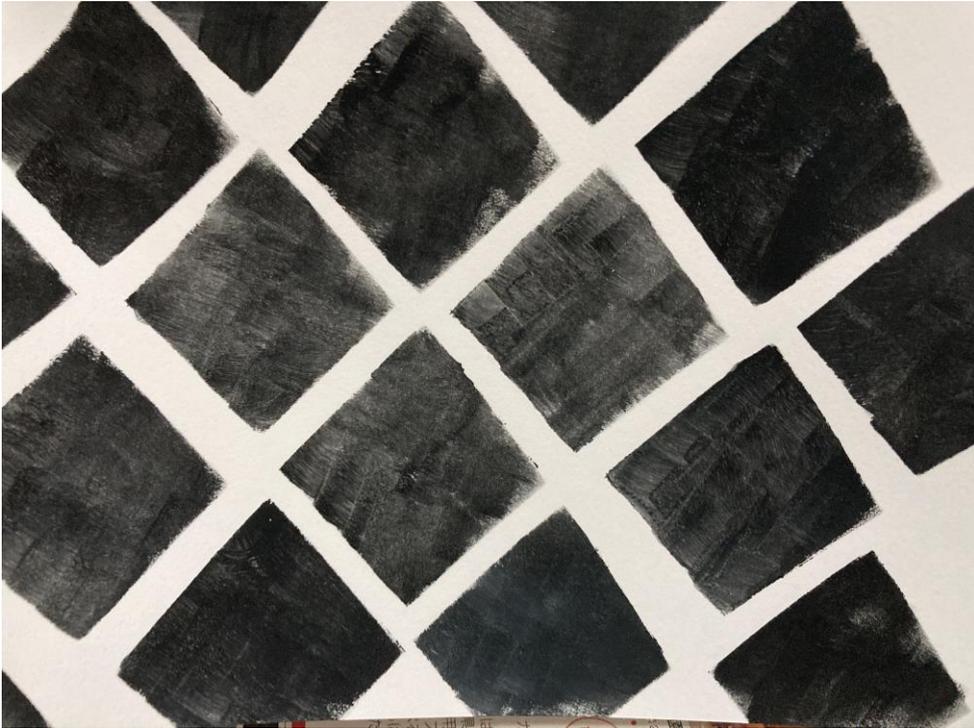


★完成



■ そのほか参考作品

《なまこ壁》



《秋の味覚（柿、ぶどう、栗）》

